



新任紹介:耳鼻咽喉科副部長 平木 信明

この度、7月1日付けで浜松労災病院耳鼻咽喉科に赴任いたしました。専門は、耳鼻咽喉科一般、鼻科学、頭頸部腫瘍などです。簡単な略歴ですが、平成11年に産業医科大学を卒業後、同大学の耳鼻咽喉科学教室に入局致しました。産業医科大学病院や北九州市立八幡病院耳鼻咽喉科で研修を行い、卒後6年目から約2年間、大学の使命でもあります産業医を和歌山のある精密機械工場で行いました。その際、産業医に従事しながら和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科でもお世話になり耳鼻科の修練も行いました。その後は、筑豊労災病院、九州労災病院、産業医科大学病院で耳鼻科医として勤務し、内視鏡下鼻内手術、中耳手術、頭頸部腫瘍手術などを修練してまいりました。また、私自身、アレルギー性鼻炎における鼻閉と睡眠呼吸障害などについて研究をしてまいりました。



現在、浜松労災病院耳鼻咽喉科には山本先生、本間先生がおられ、私が赴任したことで3人体制になります。3人で力を合わせ地域の医療の力になればと考えております。また、耳鼻科の急患などありましたらフットワーク軽く対応したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

少しでも地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。若輩者ではありますが、皆様、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

放射線科:核医学検査の現状と地域医療への貢献

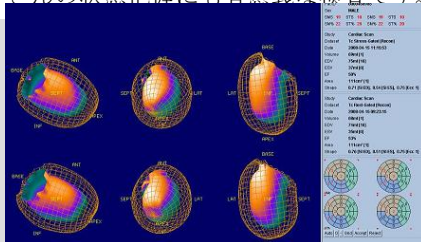
当院の核医学検査装置はシーメンス製の e.cam signature で H19 年 6 月に導入しました。従来の検査に加え、最新の優れた心機能解析ソフトウェアを用い、心電図同期心筋 SPECT (Single Photon Emission CT) 検査が行えるようになりました。従来の心筋血流 SPECT 検査に加え、左室容積や左室駆出率などの左心機能評価が可能となり、より優れた画像診断ができるようになりました。また、脳血流シンチでは正常脳血流量をもとに、局所脳血流分布を解析するソフトを導入し、認知症の診断や治療に役立てています。

心臓核医学検査

動脈硬化により冠動脈疾患のリスクが高い方や狭心症が疑われる方の局所心筋血流量の診断、心筋梗塞、狭心症などの重症度の評価ができます。トレッドミルを使って運動してもらい、心臓に負荷を与え安静時と比較した画像から心筋の生存能を評価します。運動が出来ない患者さんは薬物による負荷心筋シンチにより心筋梗塞か心筋虚血なのか等の診断に利用され、心臓カテーテル検査の必要性、PCIやバイパス手術などの適用判定、術後の効果判定などに利用されています。又、使用する放射性医薬品によって心筋脂肪酸代謝や心筋交感神経の画像評価を行うことができます。急性心筋梗塞、不安定狭心症、重症労作性狭心症などにより心筋虚血が生じた部位の心筋脂肪酸代謝異常の画像診断もでき、治療方針の決定や治療効果の判定に利用されています。最近では、心筋交感神経の画像評価を行う放射性医薬品がパーキンソン病の鑑別にも利用されるようになってきました。

脳核医学検査

脳血流に応じた脳組織に取り込まれるため、血流傷害部位を集積欠損像として描出します。脳梗塞や脳血管の動脈硬化が疑われる患者さんの、脳虚血の重症度評価や血行再建術の適応や効果判定に利用されている検査です。又、高齢者の心臓バイパス手術前の脳血流状態の把握、認知症患者さんの状態把握にも有意義な検査です。



心機能解析ソフトにより、左室容積や左室駆出率などの左心機能評価が出来ます。

その他の核医学検査

腎臓の機能診断を行うレノグラム検査、肺動脈の血栓塞栓症などの血流障害を診断する肺血流シンチ、悪性腫瘍の診断、骨の病変を描出する検査等を行っています。

地域連携への貢献

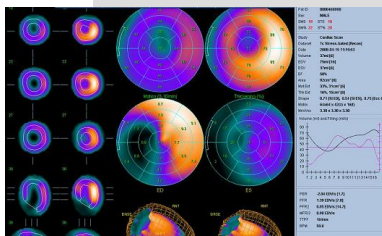
現状は地域医療への貢献は少ないが、高齢化社会になり認知症など社会的問題に対し核医学検査は有益な情報をもたらしてくれます。今後、当院でも認知症検診に核医学検査を取り組めればと考えています。

心筋 SPECT

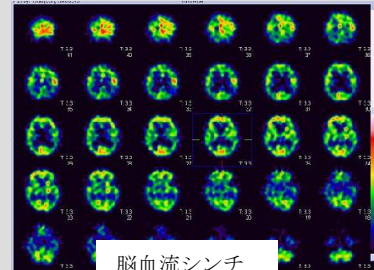
心・大動脈系の画像診断には CT、MRI、冠動脈造影、核医学検査 (SPECT) などさまざまな検査があります。その中で核医学検査は非観血的であり、他の検査と比べ生理的な画像をもとに評価する事ができます。心筋血流の描写はもとより、心筋脂肪酸代謝、心筋交感神経機能の評価も可能です。患者さんのフォローや状態把握のために利用していただければと思います。

脳 SPECT

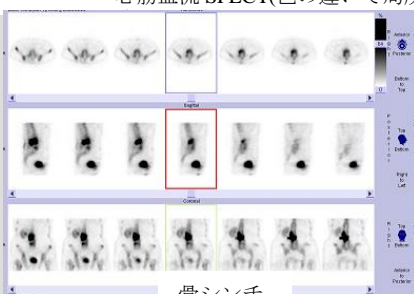
CT、MRI 検査は中枢神経疾患の診断および治療効果判定には不可欠な検査ですが、核医学検査は、脳血流状態や脳代謝画像情報を提供することができます。高齢化社会を迎えるにあたり認知性疾患の早期診断検査のひとつとして利用していただければと思います。(放科:堀井・森下・守屋)



心筋血流 SPECT(色の違いで局所心筋血)



脳血流シンチ



骨シンチ



暑中お見舞い申し上げます。ろうさいニュースは今回で 300 号を迎えました。今後ともよろしくお願いいたします。